

研究利益相反審査委員会議事録

日 時 平成27年1月21日 水曜日 13時50分～14時00分
場 所 三重病院外来管理治療棟会議室
出 席 者 別紙のとおり
議 事 内 容 下記のとおり

(利益26-10～17) 沈降精製百日せきシフテリア破傷風不活化ポリオ（ソークワクチン）混合ワクチン（DTaP-wIPV）接種後の抗体価推移と追加接種の必要性の検討

研究者	26-10 菅 秀	26-11 松田 正
	26-12 稲光 毅	26-13 黒木 春郎
	26-14 下村 国寿	26-15 南 武嗣
	26-16 岡田 賢司	26-17 中山 哲夫

委員長 同一の研究に参加される研究者の方々の利益相反申告書が提出されています。これを一つ一つ見ると、有りの方が少しみられます。治験の研究費等をもってはいけないうけでなく、そういうことに関して透明性があり、これに関連して研究結果が影響を受ける可能性があるかどうか、みていただくこととなります。

委員長 研究の中身は、既に終わった治験の被験者に対し、1年ごとに採血を行うもので、どこの薬が良い悪いといった研究ではないので、それぞれの企業から研究費や講演料をもらっていますが、それによって結果が影響を受けるとは考えにくいと思いますが、委員のみなさんいかがなものでしょうか。

委員長 たとえば、特定の会社の薬の効果を調査するような研究であれば、患者の参加をお願いすることは可能であるが、最終的な解析や結果の判断に関して参加をしないよう勧告することができる。ただ今回は単純に1年に1回検査をするだけです。

委員長 利益相反はないものと判定して宜しいですか。

各委員 承認

(利益26-18) 小児摂食障害におけるアウトカム尺度の開発に関する研究—学校保険における思春期やせの早期発見システムの構築、および発症要因と予後因子の抽出に向けて—

(H26-健やか-一般-001) 研究者 鈴木 由紀

委員長 申告者からは全てなしと申告されている。

申告者 平成25年12月に承認されている研究。厚生労働科学研究費の調査研究に参加するにあたって、利益相反の審査が必要となりました。

委員長 この基準に該当するものは全てないと申告されていますが、ご意見はありませんか。

各委員 特にご意見がないようでしたら承認とします。（各委員承認）